

スポーツごみ拾い

【内 容】

従来のごみ拾いに「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させたスポーツです。予め定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合います。

【競 技 者】

1 チーム5名（厳守）

※チーム名をつけてください。

※各実施団体の参加チーム数に制限はありません。



【用 具】

軍手、ごみ袋、火ばさみまたはトング（チームに1本）、計量器（キッチンハカリ、家庭用ヘルスメーターなど）

※軍手、ごみ袋、計量器については、個数等の制限はありません。

※ごみ袋の大きさに制限はありませんが、レジ袋小を用意されると、たばこの吸殻等が集計しやすくなります。

【ル ー ル】

- 競技時間は、60分とします。（厳守）
- 競技時間中の休憩や水分補給は自由です。
- チームにはリーダーを1名設けてください。
- 小学生以下だけで構成されるチームには、審判員（保護者など）を1名入れてください。（審判員は、チーム人数に含みません）
- ごみを拾うエリアについては、場所、広さ等の制限はありませんが、参加者が安全に楽しく参加できるエリアを選定してください。
- 一般の方との接触や車道への飛び出し等を防ぐため、競技中は走らないようにしてください。
- チーム員は先頭と最後尾が10m以上離れないようにします。
- 予め危険とみなされた場所、中央分離帯、車道、交差点、川やドブ、運転者が乗車する停車中の車の近辺等でのごみ拾いは充分注意してください。
- 計量はチームごとに行います。
- 終了後、収集したごみについては、各自治体の分別方法にしたいがい、指定の集積場所で処分してください。

【分別方法とポイント】

- たばこの吸殻 1g×1 ポイント
- たばこの吸殻以外のごみ 1g×0.5 ポイント
（紙くず、プラスチック容器、ビン、缶、ペットボトルなど）

【違反項目】

- 人員オーバー
- 制限時間オーバー
- 指定された用具以外の用具を使用する
- 学校や個人宅等の私有地に侵入する
- ごみに水を含ませる
- 粗大ごみを拾う
- 一定のごみだけ狙い、目に付いたごみを拾わない
- 街のごみ箱やごみの集積場所からごみを拾う
- 故意にごみをつくる

【カウント方法】

「分別方法とポイント」に基づき算出されたポイントが獲得ポイントとなります。ただし、違反行為があった場合は、違反行為 1 つに対し、100 ポイントが減点となります。

■得点計算例

獲得ポイント

たばこの吸殻：200 g → 『200 g × 1 ポイント = 200 ポイント』

空き缶：500 g → 『500 g × 0.5 ポイント = 250 ポイント』

紙くず：800 g → 『800 g × 0.5 ポイント = 400 ポイント』

減点ポイント

競技時間オーバー：マイナス 100 ポイント

よって、チーム公式ポイントは、

『200 ポイント + 250 ポイント + 400 ポイント - 100 ポイント = 750 ポイント』

となります。

スポーツごみ拾い（正式名：スポーツ GOMI 拾い）は、一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ（旧 一般社団法人日本スポーツ GOMI 拾い連盟）が公式ルールを作り上げ、管理・保有しています。（一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ <http://www.spogomi.or.jp/>）
チャレンジデーでは一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブにご協力いただき、「チャレンジデー特別ルール」として、スポーツごみ拾いを実施いたします。